

みちびき信号認証サービスを用いた国産ドローンによるアンチGNSSスプーフィング実証

株式会社コア

- 自動運転やドローンの自律飛行の技術の普及に伴い、悪意のあるユーザによってGNSSを誤動作させるスプーフィング技術の対策が課題。
- 本実証では2024年度より開始予定の「信号認証サービス」に対応した受信機を開発し、CLAS対応ドローンに搭載。スプーフィング状況下でも安全に飛行できることを確認。
- 信号認証サービスに対応したGNSS受信機「Cohac ∞ Ten++」は2024年度販売開始予定で、ドローン以外の用途でも利用可能な環境を実現する。



みちびき信号認証対応受信機
Cohac ∞ Ten++



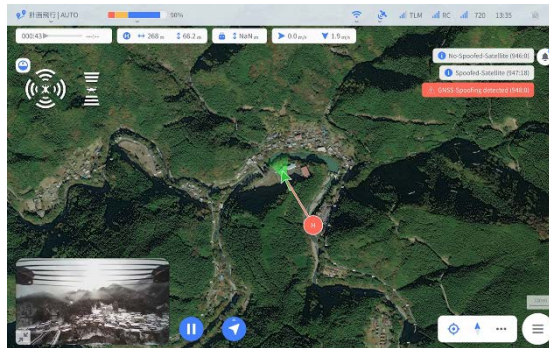
ドローンで救援物資を運搬する実証実験



スプーフィングで位置が狂わされているデモ



みちびき信号認証対応ドローン
Chronosky PF2-AE



スプーフィングを検知した操縦者画面



秩父市職員が救援物資を無事受け取る様子